

## パブリックコメントの結果公表

- ・政策等の名称

第3期成田市・まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)

- ・意見等の募集期間

令和6年12月15日 から 令和7年1月15日

- ・意見等の件数

14件 (2人)

- ・担当課

企画政策課 (電話:0476-20-1500)

第3期成田市・まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について提出された意見と市の考え方

番号	提出された意見の概要		意見に対する市の考え方
1	p18	<p>■成田空港の更なる機能強化への対応</p> <p>サステナブル社会に進まないと成田市は衰退する恐れがある。</p> <p>住宅用地確保のための土地区画整理事業をするより、既存の成田 NT は完成された住宅地であり、しかも計画人口の半分が空いているという勿体ない話である。</p> <p>新たな開発をするより、完成された成田 NT に居住すれば、空家解消で一挙両得でもある。</p>	<p>成田空港の更なる機能強化や、それに伴う空港周辺地域への波及効果により、本市では、人口増加や企業立地が大いに期待されており、これらの受け皿として、組合施行の土地区画整理事業により、秩序ある快適で良好な市街地の整備を推進しております。</p> <p>また、成田ニュータウンにおきましても、空港関連企業の雇用増加の受け皿としての役割も大きいものと考えており、UR 都市機構や千葉県による団地の再整備が図られることが必要不可欠ですので、引続き UR 都市機構や千葉県と連携しながら居住環境の整備に取り組んでまいります。</p>
2	p27	<p>【各指標の達成状況及び今後の方向性】</p> <p>【KPI の達成状況】</p> <p>①空港を活用した戦略的な企業誘致の推進</p> <p>環境への影響を第一に考えバランスが重要。</p> <p>企業誘致すれば、ごみ問題が出てくる。</p>	<p>成田空港の更なる機能強化は、地域の活性化や雇用拡大の面で経済的な効果が極めて大きいことから、本市では、その実現に取り組むとともに、物流や空港関連産業等の民間事業者の開発需要を取り込むため、企業立地のための受け皿確保等、企業が進出しやすい環境づくりに努めておりますが、ご指摘のとおり、誘致企業の事業活動で生じるごみ等により、環境に影響を与えないようにする取組も必要であると考えます。</p> <p>ごみ問題とは、企業が事業活動を行う上でのごみの増加に対する問題を指摘されているかと思えます。現在、市では、事業系一般廃棄物の排出について、民間事業者に分別の徹底の指導や、資源物の再生利用の啓発を行い、ごみの排出の抑制に向けた取り組みを行っておりますが、今後、市内における事業活動がさらに活発になっていくことを踏まえ、引き続き指導と啓発にしっかりと取り組んでまいります。</p>

番号	提出された意見の概要		意見に対する市の考え方
3	p28	<p>【KPI の達成状況】</p> <p>③安定した農業経営の実現と担い手確保・育成            サステイナブル社会を常に意識し、農業施策が最重要と考える。</p> <p>気候変動で世界中の農産物収穫の減少傾向にある。            国内食料自給率を向上させることが重要。</p>	<p>国は、近年における世界の食料需給の変動、地球温暖化の進行、我が国における人口の減少その他の食料、農業及び農村をめぐる諸情勢の変化等に対応するため、昨年5月に、「食料・農業・農村基本法」を改正し、食料自給率の向上とともに重要な取り組みである「食料安全保障の確保」などを新たに法律の基本理念に加え、現状において取り組むべき課題を明確化し、新たな中長期的な方針としての次期基本計画の策定が進められています。市としましては、これらの動向を注視するとともに、同計画を踏まえ、各種施策を展開してまいります。</p>
4	p28	<p>インバウンド観光客の増加で、オーバーツーリズムがあってはならない。特に海外からの感染症が持ち込まれない様に対策が必要。</p> <p>国と千葉県と連携して、海外観光客とウイン・ウインの関係が大事。</p>	<p>本市は成田山新勝寺や成田空港という本市の強みを生かした観光客誘致を展開することにより、今後も観光客が増加すると見込んでいることから、持続可能な観光地域づくりのためには、観光関係団体、市民の皆様のご協力をいただきながら、地域一体となって誰もが安全・安心で快適に過ごせる受け入れ環境の整備に取り組む必要があると考えております。</p> <p>また、感染症の国内への侵入防止については、検疫所が必要な水際対策を講ずることとなりますが、成田国際空港を抱える本市といたしましては、平時より検疫所をはじめとする国や県、関係機関との情報交換や協力体制の確認を行い、連携体制の強化を図ってまいります。</p>
5	p33	<p>③脱炭素・循環型社会に向けた取り組み</p> <p>所謂サステイナブル社会に向けた取り組みであるが、成田市は2050年ゼロカーボンシティ宣言はしたが、その後の取り組みがない「グリーンウォッシュ」にしないために、2050年までのロードマップの作成が急務である。</p>	<p>本市では、国におけるカーボンニュートラル宣言や地球温暖化対策の推進に関する法律の改正、地球温暖化対策計画の改定、本市の地球温暖化に向き合う姿勢を示した「ゼロカーボンシティ宣言」の表明などを踏まえて令和5年7月に第3次成田市環境基本計画の中間見直しを実施しました。</p> <p>また、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを具体化</p>

番号	提出された意見の概要		意見に対する市の考え方
			<p>するため、第3次成田市環境基本計画に内包されている「成田市環境保全率先実行計画(区域施策編)」について、「成田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」と改称し、特に重点的な見直しを行い、区域施策編を別冊化したしました。</p> <p>今後につきましては、上記の計画に基づき、ゼロカーボンシティの実現を目指してまいります。</p>
6	p33	④災害への迅速かつ適切な対応緩和と適応が必要	<p>近年、大規模自然災害の発生が頻発・激甚化していることを踏まえ、災害に強いまちづくりを実現するために、市民の防災意識の高揚を図るなどのソフト面の強靱化とともに、施設整備などのハード面での強靱化に引き続き取り組み、災害に対し迅速かつ適切に対応してまいります。</p>
7	p35	(2)地方創生の推進に当たっての方向性 ①推進体制とPDCAサイクルによる進行管理 実際にはPDCAサイクルを実施していない。	<p>総合戦略におけるPDCAサイクルとしましては、まず、Plan・計画として、基本となる「総合戦略を策定」いたします。</p> <p>続いて、Do・実施としては、総合戦略に基づいた予算編成及び事業の執行となり、Check・評価としてKPIによる進捗管理を実施し、Action・改善として、KPIの進捗に基づき各事業の見直しを図っております。</p> <p>今後も引き続き、KPIの進捗管理を軸に、適切にPDCAサイクルを構築してまいります。</p>
8	p37	【デジタル技術を活用した取り組み】 まずは農業人口を増やすことが急務である。 国や千葉県と連携して、農家の所得補償が必要であり、高齢化した農家の救済措置を取ることに。	<p>農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するためには、次世代を担う農業者の育成・確保に向けた取組を講じていく必要があることから、本市においては、令和6年度より市独自の補助制度として「新規就農者等就農支援補助金」の運用を開始しており、農業に取り組みやすい環境を整えることで、農業への新規参入を促進してまいります。</p> <p>また、所得補償につきましては、農業経営の安定に資するよ</p>

番号	提出された意見の概要		意見に対する市の考え方
			<p>う、経営所得安定対策等により、米の需給と価格の安定を図るため、大豆・麦や飼料用米への作付け転換など、需要に応じた主食用米の生産に取り組んだ農業者に対し交付金を交付することで、支援しております。</p>
9	p38	<p>【住む人が誇れ、多くの人が行き交うまち】 オーバーツーリズムにならぬように。 ごみ問題が発生するが対策をする。例えば観光客に一律にごみ処分費を観光税として徴収する。</p>	<p>観光客に安全・安心で快適に過ごせる環境を提供するため、年末年始をはじめイベント開催時には、関係機関と連携し観光客の安全に配慮した交通規制、交通整理等を行うとともに、公共交通機関での来成を促すなど周知を図っております。</p> <p>また、観光客が増加することによるごみのポイ捨て等の問題につきましては、成田観光館にて観光庁作成の外国人観光客向けのマナー啓発動画を放映し、外国人観光客に日本のマナーや文化についての理解を促す取組を実施しているほか、イベント開催時には地域の方々や主催者と協力してごみ拾いを行うなど、観光関連事業者等と連携して取り組んでまいります。</p> <p>さらに、現在、新たな観光振興財源として宿泊税の導入を検討しており、その用途についても併せて検討をしているところであります。いただいたご意見は検討の参考とさせていただきます。</p>
10	p45	<p>(2)成田空港の更なる機能強化を見据えた新たなまちづくりの推進 サステナブル社会を求めている筈なのに(p33 脱炭素・循環型社会に向けた取組み)空港周辺地域では、開発許可基準の見直しや土地利用規制の緩和など、企業立地の受け皿確保を積極的に展開するという、全く真逆なまちづくり推進を施策とするという、開発優先には疑問符が付く。</p>	<p>成田空港と共に発展してきた本市において、将来のまちづくりと密接に関連する成田空港の更なる機能強化は、地域の活性化や雇用拡大の面で経済的な効果が極めて大きいことから、その実現に取り組んでいく必要があります。</p> <p>こうした空港機能強化の整備が着実に進展するとともに、圏央道や北千葉道路などの広域ネットワークの強化が進む中、物流や空港関連産業等の民間事業者の開発需要が高まってきており、企業立地の受け皿を確保することが求められておりますので、現在、本市では、都市計画マスタープランのまちづくりの</p>

番号	提出された意見の概要		意見に対する市の考え方
			<p>方針等を踏まえながら、空港周辺地域を中心に、企業立地の受け皿となる場所を選定、精査しているところであり、今後、この調査結果を基に計画的な土地利用につなげていきたいと考えております。</p> <p>また、本市が持続的に発展していくためには、経済活動が不可欠であります。自然を守ることの重要性も認識しております。</p> <p>本市では、環境基本計画において、大規模開発などによる自然環境への影響を抑制するため、開発事業者に適切な指導を行って計画的な土地利用を推進することを取組方針の一つとして位置づけております。</p> <p>新たに開発事業が行われる際には、事業者に対して残置森林の保全や造成森林の整備について林地開発における許可条件の遵守を求めるなど、自然環境に与える影響を抑えるとともに、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用など、脱炭素化に向けた取組を促進することにより、社会経済活動と環境保全の調和を図ってまいります。</p>
11	p49	<p>基本目標 4 誰もが安心して自分らしく暮らせるまち【デジタル技術の活用】</p> <p>・マイナ保険証を活用した救急業務の迅速化・円滑化</p> <p>マイナ保険証の信頼性が全くなく、個人情報漏洩している社会において、市民が安心して暮らせないことには大いに問題がある。</p>	<p>令和6年12月2日から健康保険証が発行されなくなり、マイナンバーカードの保険証利用(マイナ保険証)を基本とする仕組みに移行しました。マイナ保険証を利用した際のトラブルについては、これまでのところ本市に情報は寄せられていませんが、今後も国や県と連携しながら、国民健康保険加入者の皆様に、制度について丁寧な説明を行うとともに、安心して必要な医療を受けられるよう取り組んでまいります。</p>

番号	提出された意見の概要		意見に対する市の考え方
12	p51	<p>オンデマンド交通登録者数            現実にオンデマンド交通登録しても、車両が少なく、利用がしにくい。            いくら登録目標値を上げた処で、車両が少なくでは問題がある。成田市だけの問題ではなく、国が率先して運転手不足を解消しないことには解決しない。</p>	<p>オンデマンド交通につきましては、民間交通事業者や地域の代表者などで構成される「地域公共交通会議」の承認に基づいて実験運行をしており、車両の台数を含め運行規模などについては、民間の路線バスやタクシーなど既存の公共交通に影響を与えない範囲で競合を避けて運行することが条件とされております。</p> <p>また、国におきましては、タクシー等の運転士不足の解消につなげるため、道路交通法の一部を改正し、2022年5月から普通第二種免許の受験資格要件を緩和するなどの措置を講じております。</p> <p>市といたしましては、高齢者の移動手段の確保は、大変重要な施策の一つであると認識しておりますことから、引き続き高齢者の皆様が住み慣れた地域で快適に過ごせるよう取り組んでまいります。</p>
13	p51	<p>ゴミのリサイクル率            R9年の目標値の28%は低すぎる。            因みに環境先進市鎌倉市(R6年1/1人口171,272人)では、R4年におけるリサイクル率は56.3%である。</p>	<p>ごみのリサイクル率の目標値28.0%は、平成30年に策定した「成田市一般廃棄物処理基本計画」で設定した目標値で、平成28年度の実績値から以降の年度のごみの量を推計し算出しております。</p> <p>令和5年度のごみのリサイクル率の実績値は19.8%となっておりますことから、引き続き、目標を達成できるよう努めてまいります。</p>
14	p45	<p>①観光産業の振興について            全体的にターゲットを金銭的に余裕がある世代に向けて行なっているように感じる。子育て世代が他市からでも訪れたいと思うような展開にしていく事で今後成田に定住する可能性に繋がるのではないだろうか。</p>	<p>本市では、成田祇園祭、成田太鼓祭、成田伝統芸能まつり、成田弦まつりなど、一年を通して魅力ある様々な観光行事を開催するとともに、観光キャラクターのうなりくんを活用し、各種イベント等で情報の発信を行うなど、観光を通して本市の魅力について積極的にPRを行っております。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
		<p>そのような中で、観光をきっかけに本市に関心をお持ちいただいた方が、本市に住んでみたいと思っただけのように、結婚から妊娠・出産・子育て・教育まで切れ目のない支援体制の充実を図るなど、若者や子育て世代が安心して子どもを産み育てられるまちづくりを積極的に推進してまいります。</p>